

取扱説明書

DuraVision[®] FDF2307W ^{カラー液晶モニター}

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書および使用上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

- ・モニターの設置 / 接続については、セットアップガイドを参照してください。
- ・取扱説明書を含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できま す。

www.eizo.co.jp

警告表示位置



1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾 を得ることなく転載することは固くお断りします。

- 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありま したら、ご連絡ください。
- 4.本製品の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責 任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

この製品について

使用について

この製品は、監視カメラ画像表示用途に適しています。

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。 This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社別売オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

液晶パネルについて

モニターの表示が安定するまでに、約30分(当社測定条件による)かかります。モニターの調整は電源を入 れて30分以上経過するまでお待ちください。

長時間使用することによる画面品位の劣化を抑え、長くご使用いただくには、輝度を下げて使用されること をお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがありま す。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機 能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、 画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合が ありますので、あらかじめご了承ください。なお、有効ドット数の割合は99.9994%以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しな くなったときには、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

液晶パネル面や液晶パネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常 を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしてお くと、液晶の劣化や、液晶パネルの破損などにつながる恐れがあります。(液晶パネルを押した跡が残った 場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。)

液晶パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

設置について

ラッカー系の塗料を使用した机にこの製品を置くと、スタンドの底面に使用しているゴムの成分により、色が付着する場合があります。ご使用前にご確認ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露 が生じることがあります(結露)。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ち ください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

メンテナンスについて

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします (「クリーニングの仕方」 (P.4) 参照)。

クリーニングの仕方

キャビネットや液晶パネル面の汚れは、少量の水をしめらせたやわらかい布、またはScreenCleaner(別 売オプション品)を使用して、やさしくふき取ってください。

注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットや液晶パネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などに つながる恐れがあります。
- ・シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナは、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しない でください。

モニターを快適にご使用いただくために

- ・画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- ・長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

目次

この製品について3		
クリ-	-ニングの仕方4	
モニ	ターを快適にご使用いただくために4	
目次		
第1章	はじめに6	
1.1	HE C	
1-1.	行支0	
1-2.	各部の名称と機能7	
)前面7	
) 背面8	
	リモコン	
1-3.	対応解像度	
第2章	基本の調整 / 設定	
2.1	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	
2-1.	人力信号を切り皆える12	
2-2.	表示モード(カラーモード)を切り替える…13	
) モードの種類13	
2-3.	明るさを調整する13	
2-4.	Ecoに使う14	
2-5.	画面サイズを切り替える15	
2-6.	音量を調整する15	
2-7.	音を消す15	
第3章	詳細な調整 / 設定16	
3-1.	設定メニューの基本操作方法16	
3-2.	設定メニューの各機能17	
) カラー調整17	
	6号設定20	
	23 本体設定	
) 言語選択	
	インフォメーション	

:	第4章	管理者向け設定	25
	4-1.	「Administrator Settings」メニューの 基本操作方法	25
	4-2.	「Administrator Settings」メニューの 各機能	26
	第5章	こんなときは	27
	5-1.	画面が表示されない場合	27
	5-2.	画面に関する症状 (デジタル、アナログ共通)	28
	5-3.	画面に関する症状(アナログのみ)	29
	5-4.	その他の症状	29
	第6章	ご参考に	30
	6-1.	オプションアーム取り付け方法	30
	6-2.	複数の外部機器を接続する	32
) 接続例	32
	6-3.	外部スヒーカーを接続する) 接続例	33
	6-4.	仕様	34
	•)オプション	34
	付録		35
	商標.		35
	ライも	センス	35
	VCCI.		36
	その#	也規格	36
	アフター	-サービス	37

第1章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

- 23型ワイド画面
- 解像度1920×1080対応
- HDMIコネクタ(×2)を搭載
- 消費電力削減

画面の明るさを自動的に調整し、消費電力を抑える機能を搭載しています。「EcoView設定」メニューで、電力削減量、CO₂削減量、省エネレベルを確認できます。(P.14)

- Auto EcoView モニター前面の外光センサーが周囲の明るさを検知し、自動的に画面の明るさを調整します。
- EcoView Optimizer 2 入力信号の白レベルに応じて自動的に画面の明るさを調整します。入力信号の明るさを維持しながら、消 費電力を削減することができます。
- リモコンによる簡単操作、各種調整 / 設定が可能
 「1-2. 各部の名称と機能」(P.7)参照
- VESA規格対応の取付穴を搭載 壁掛け設置にも対応しています。
- ・ HDCP(著作権保護技術)により保護されたコンテンツを表示可能
- ・24時間連続使用で2年間の長期保証

1-2. 各部の名称と機能

● 前面



1. スピーカー	音声を出力します。
2. 外光センサー	周囲の明るさを検知します。Auto EcoViewを使用すると、周囲の明るさに合わせ
	て、画面の明るさが自動的に調整されます(P.14)。
3. リモコン受光部	リモコンからの信号を受信します。
4. SIGNAL ボタン	表示する入力信号を切り替えます(P.12)。
5. Vol ー/ Vol +ボタン	音量を調整します。
6.	電源のオン / オフを切り替えます。
7. 電源ランプ	モニターの動作状態を表します。
	青: 通常動作モード
	橙:省電力モード
	赤:電源オフ
	消灯:主電源オフ

.......



8. ハンドル	運搬用のハンドルです。
9. 盗難防止用ロック	Kensington社製のMicroSaverセキュリティシステムに対応しています。
10. ケーブルホルダー	ケーブルを収納します。
11. スタンド ^{※1}	角度(チルト)が調整できます。
12. ヘッドホンジャック	ヘッドホンを接続します。
13. 主電源スイッチ	主電源のオン / オフを切り替えます。 : オン、〇:オフ
14. 電源コネクタ	電源コードを接続します。
15. HDMIコネクタ	HDMI出力のある外部機器を接続します。
16. DVIコネクタ	DVI出力のある外部機器を接続します。
17. D-Sub15ピン(ミニ)コネクタ	D-Sub出力のある外部機器を接続します。
18. ステレオミニジャック(入力)	コンピュータなどの外部機器を接続します。
19. ステレオミニジャック(出力)	アンプ内蔵のスピーカーを接続します(P.33)。

※1 この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム(またはオプションスタンド)に取り付けることが可能になります。

● リモコン



表示する入力信号を切り替えます。
カラーモードを切り替えます。
設定メニューを表示 / 終了します。
「EcoViewメニュー」を表示 / 終了します。
画面サイズを切り替えます。
電源のオン / オフを切り替えます。
• 設定メニューの選択や、機能の調整または設
定をします。
・ 🦳 / 💭 : ブライトネス(明るさ)調整画面
を表示します(P.13)。
各メニューの調整項目を決定したり、調整結果を
保存します。
メニュー操作時、メニューを一つ前の画面に戻し
ます。
音量を調整します。
音声を一時的に消します。

● リモコンについて

電池の入れ方

- 1. リモコンの底面を上にし、矢印の方向にスライドさせ、 カバーを取り外します。
- 「+(プラス)」側を上にして、電池を入れます。
 (電池型番:CR2025)
- 3. カバーを元に戻します。



リモコン受信範囲

リモコンは図の範囲から操作してください。



1-3. 対応解像度

この製品は次の解像度に対応しています。

			C):対応 -:非対応
解像度	垂直走査周波数 (Hz)	HDMI	DVI	D-Sub
640×480	59.940	0	0	0
640×480	60.000	0	-	-
640×480	75.000	_	-	0
720×400	70.087	0	0	0
720×480	59.940	0	-	-
720×480	60.000	0	-	—
800×600	60.317	0	0	0
800×600	75.000	—	-	0
1024×768	60.004	0	0	0
1024×768	75.029	_	-	0
1280×720	59.940	0	-	-
1280×720	60.000	0	0	0
1280×960	60.000	0	0	0
1280×1024	60.020	0	0	0
1280×1024	75.025	—	-	0
1680×1050	59.883	0	0	0
1680×1050	59.954	0	0	0
1920×1080 ^{**}	59.940	0	-	
1920×1080 ^{**}	60.000	Ó	0	0
※1 推奨解像度です。				

参考

・スキャン方式はプログレッシブにのみ対応しています。

第2章 基本の調整/設定

この製品は、使用環境やお好みに合わせて明るさを変えたり、消費電力を抑えてEcoに使ったりすることができます。

この章では、リモコンを操作する、または、モニター前面のボタンを押すことで調整 / 設定できる基本の機能を説明します。

設定メニューを使って詳細に調整 / 設定する方法については「第 3 章 詳細な調整 / 設定」 (P.16) を参照 してください。

2-1. 入力信号を切り替える

モニターに複数の信号を入力している場合、画面に表示する信号を切り替えることができます。

設定方法

1. リモコンのPCまたはHDMIを押します。



参考

・本体操作ボタンの SIGNAL で調整することもできます。



2-2. 表示モード(カラーモード)を切り替える

この製品は、表示用途に適したカラーモードをあらかじめ準備しています。 用途や表示内容に合わせてモードを切り替えると、コンテンツに適した状態で画像を見ることができま す。

● モードの種類

カラーモード	目的
User1	お好みの表示に設定したい場合に選択します。
User2	
sRGB	ハイビジョンカメラ映像やWebサイトを表示する場合に適しています。



設定方法

- リモコンの MODE を押します。
 モード名が画面下部中央に表示されます。
- 2. MODEを押すたびにモードが順に切り替わり表示されます。

2-3. 明るさを調整する

設置環境やお好みに合わせて、画面の明るさを調整できます。 バックライト(液晶パネル背面の光源)の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定値

0~100

設定方法

- 1. または を押します。
 ブライトネスメニューが表示されます。
- 2. 🔲 または 💭 で設定します。
- 3. 設定が完了したら、ENTERを押します。

2-4. Ecoに使う

この製品には、モニターをEcoに使うためのEcoView機能が搭載されています。 EcoView機能のひとつであるAuto EcoViewを使用すると、周囲の明るさに合わせて画面の明るさが自動 で調整されます。

設定方法

- リモコンの EcoView を押します。
 「EcoView設定」が表示されます。
- 2. 「EcoView設定」で「Auto EcoView」または「EcoView Optimizer 2」を選択し、ENTER を押します。
- 3. 🔵 または 💭 で「オン」または「オフ」を設定します。
- 4. 設定が完了したら、ENTERを押します。

機能	設定値	説明
Auto EcoView (オートエコビュー)	オン オフ	 Auto EcoViewを使用するとモニター前面の外光センサーが 周囲の明るさを検知し、自動的に画面の明るさを調整しま す。 明るさを適切に調整することで、バックライトにかかる電 力を抑えることができます。 さらに、画面がまぶしすぎたり暗すぎたりすることによる 目への負担や疲労を和らげます。 参考 Auto EcoViewを使用する場合は外光センサーをふさが ないように注意してください。 Auto EcoViewの設定が「オン」の場合でも、お好みに
		合わせて、カラー調整で「ブライトネス」を変更する ことができます。また、変更した値に合わせて、Auto EcoViewの明るさの変化の仕方も変わります。
EcoView Optimizer 2 (エコビューオプティマイザーツー)	オン オフ	入力信号の白レベルに応じて自動的に画面の明るさを調整 します。 入力信号の明るさを維持しながら、消費電力を削減するこ とができます。
		 参考 ・設定が「オン」の場合、淡い色が若干異なって表示されることがあります。気になる場合は「オフ」にしてください。

参考

・「EcoView設定」メニューでは省電力の度合い(電力削減量、CO₂削減量、省エネレベル)を確認できます。省エネレベルを表すインジケータが多く点灯するにつれ、省電力の度合いが高くなります。

- 電力削減量:ブライトネスの調整値に応じた、バックライト消費電力の低減量です。

- CO₂削減量:電力削減量から換算した、モニターを1時間使用した場合に削減できるCO₂排出量の目安です。

・数値は「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令(平成18年経済産業省 環境省 令第3号)に定める初期設定値(0.000555t-CO2/kWh)」を元に算出しており、国、年度などによって変わる可 能性があります。

2-5. 画面サイズを切り替える

モニター画面に表示するサイズを切り替えることができます。詳細は「画面拡大」 (P.20) を参照し てください。

設定方法

リモコンの SIZE を押します。
 SIZE を押すたびに、画像の表示サイズが切り替わります。

2-6. 音量を調整する

スピーカーとヘッドホンの音量を、個別に設定することができます。

設定値

0~30

設定方法

1. リモコンの VOLUME+ または VOLUME- を押します。

参考

・本体操作ボタンの Vol + または Vol - で調整することもできます(「1-2. 各部の名称と機能」(P.7)参

照)。 注意点

- ステレオミニジャック(出力)にアンプ内蔵スピーカーを接続している場合、音量は外部スピーカー側で操作してください。モニターのリモコンや本体操作ボタンでは操作できません。
- ・次の条件が重なると、音量を調整しようとしたときに「現在この操作はできません。」と表示されます。 - ヘッドホンを接続していない。
- ステレオミニジャック(出力)にアンプ内蔵スピーカーを接続している。

2-7. 音を消す

スピーカーやヘッドホンの音を消すことができます。

設定方法

1. リモコンの MUTE を押します。

音声が一時的に消えます。もう一度 MUTE を押すか、VOLUME+または VOLUME-を押すと音声が出ます。

参考

・本体操作ボタンの Vol + または Vol - を押しても、消音を解除することができます。

注意点

- ステレオミニジャック(出力)にアンプ内蔵スピーカーを接続している場合、音量は外部スピーカー側で操作してください。モニターのリモコンや本体操作ボタンでは操作できません。
- ・次の条件が重なると、消音しようとしたときに「現在この操作はできません。」と表示されます。
- ヘッドホンを接続していない。
- ステレオミニジャック(出力)にアンプ内蔵スピーカーを接続している。

第3章 詳細な調整/設定

この章では、設定メニューを使ってモニターを詳細に調整 / 設定する方法を説明します。 基本的な機能については、「第2章基本の調整 / 設定」(P.12)を参照してください。

3-1. 設定メニューの基本操作方法

1.メニューの表示

1. リモコンの MENUを押します。

設定メニューが表示されます。

DuraVision FDF2307W
カラー調整
信号設定
本体設定
言語選択
インフォメーション

2. 調整 / 設定

1. 🕒 💟 で、調整 / 設定したいメニューを選択し、ENTER を押します。 サブメニューが表示されます。

7	コラー調整((User1)	
カラーモード	[User1]
ブライトネス	[83]
コントラスト	[50]
色温度	[6500 K]
ガンマ 詳細設定 リセット	C	2.2]

2.
② で、調整 / 設定したい項目を選択し、ENTER を押します。
調整 / 設定メニューが表示されます。



3. 🦲 🖤 または 💷 🕞 で、調整 / 設定し、ENTER を押して確定します。 サブメニューが表示されます。

3. 終了

1. MENUを押します。

参考

・リモコンの RETURN を押すと、一つ前のメニュー画面に戻ります。

3-2. 設定メニューの各機能

● カラー調整

カラーモードの設定状態を、お好みに合わせて調整できます。調整した設定状態はカラーモードごと に保存されます。



調整できる機能は、カラーモードにより異なります。

○:調整可 一:調整不可

機能		カラーモード	
		User1 User2	sRGB
ブライトネス		0	0
コントラスト		0	_
色温度		ġ O	
ガンマ		0	—
詳細設定	オーバードライブ	0	—
	色合い	0	-
	色の濃さ	0	_
	ゲイン	0	_
リセット		0	0

注意点

- ・モニターの表示が安定するまでに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するま でお待ちください。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色味を近づけるには、次の手順で調整してください。
 - 1. それぞれのモニターに白い画面を表示する。
 - 2. いずれか1台のモニターを基準に視覚的に判断しながら、「ブライトネス」「色温度」「ゲイン」を微調 整する。
- Auto EcoViewが「オン」のとき、ブライトネスの設定値はすべてのカラーモードで共通となり、カラーモー ドごとに設定できません。

機能	設定値	説明
カラーモード	User1 User2 sRGB	 モニターの用途に応じた表示モードに切り替えます。 カラーモードの設定状態はお好みに合わせて、調整することもできます。調整するモードを選択し、各機能で調整してください。 参考 ・各モードの調整状態は、「2-2.表示モード(カラーモード)を切り替える」(P.13)を参照してください。
ブライトネス	0~100	 バックライト(液晶パネル背面の光源)の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。 参考 ・ ブライトネスが100でも暗いと感じた場合はコントラスト調整をおこなってください。
コントラスト	0~100	 ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。 参考 50ですべての色階調を表示します。 画面の明るさは、初めに、階調特性を損なうことのないブライトネスで調整することをお勧めします。 コントラスト調整は次のような場合に使用してください。 ブライトネスが100でも画面が暗いと感じたとき。(コントラストを50以上に設定します。)
色温度	オフ 4000K ~10000K (500K単位、 9300K含む)	 色温度を調整します。 通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K:Kelvin (ケルビン)という単位で表します。 炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。 「K」表示は調整の目安としてご利用ください。 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です。 「オフ」で液晶パネル本来の色(ゲインの値はRGB各100)になります。 ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。
ガンマ	1.8 2.0 2.2 2.4	ガンマ値を調整します。 モニターは入力信号のビデオレベルによって明るさが変化しますが、 この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力 信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガ ンマ補正といいます。 参考 ・カラーモードで「sRGB」を選択すると、ガンマ値は「sRGB」と 表示されます。

機能		設定値	説明	
	詳細設定	オーバー ドライブ	強 普通 オフ	モニターの用途に応じて、オーバードライブの強さを設定することが できます。 動画を表示する場合は、「強」にすることで、残像感を低減します。
				 参考 ・表示解像度や「画面拡大」(P.20)の設定によっては、オーバードライブが「オフ」になる場合があります。
		色合い	-50~50	 色合いを調整します。 参考 ・ この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
		色の濃さ	-50~50	 色の濃さを調整します。 参考 この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 最小値(-50)で白黒の画面となります。
		ゲイン	0~100	 色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。 参考 この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 ・色温度の値に応じてゲインの値が変わります。 ・ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。
	リセット		_	現在選択しているカラーモードのカラー調整値を初期設定に戻しま す。

● 信号設定

画面の表示サイズやカラーフォーマットなど、入力信号の詳細を設定します。

・D-Sub入力の場合

信約	弓設定 (D-SUB)
画面拡大	[アスペクト比固定]
	[0]
音源	[ステレオミニジャック]
アナログ調整	

	アナログ調整	I	
自動画面調整			
自動レンジ調整			
クロック		2200	
フェーズ		58	
水平ポジション			
垂直ポジション			

・ DVI / HDMI入力の場合

信号設定	È (HDM]	1)	
画面拡大	[自動]
シャープネス	[On]
カラーフォーマット	[自動]
入力レンジ	[自動]
音源	[HDMI]

機能	設定値	説明
画面拡大	自動 ^{※1} フルスクリーン アスペクト比固定 等倍	 モニター画面に表示するサイズを切り替えることができます。 「自動」 外部機器から送信されてくるアスペクト比情報と解像度情報に応じて、自動的に表示サイズを切り替えます。 「フルスクリーン」 画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。 「アスペクト比固定」 画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。 「等倍」 設定した解像度のまま、または入力信号のままの大きさで 画像が表示されます。 参考 ・ 設定例 ・ フルスクリーン ・ 設定例 ・ フルスクリーン ・ アスペクト比固定 ・ デスペクト比固定 ・ 等倍(入力信号)

機能	設定値	説明		
シャープネス	-2~2	 低解像度を画面拡大(「フルスクリーン」または「アスペクト 比固定」)で表示した場合、表示された画像の文字や線が、ぼ やけて見える場合があります。このぼやけを軽減することがで きます。 参考 表示解像度によってはシャープネスを設定する必要はあり ません。(「シャープネス」を選択することはできませ ん。) 		
カラーフォーマット	自動 YUV 4:2:2 ^{※1} YUV 4:4:4 ^{※1} RGB	 入力された信号のカラーフォーマットを指定できます。 正しい色が表示できない場合に、設定を変更してみてください。 参考 HDMI入力の場合のみ設定できます。 DVI-HDMI変換コネクタを使用して、DVI機器をモニターの HDMIコネクタに接続している場合、設定が必要です。 DVI信号入力時は、設定が「RGB」に固定されます。 		
入力レンジ	自動 フル リミテッド	 映像再生機器によっては、モニターに出力する信号のビデオレベルの黒および白が制限されていることがあります。このような信号をリミテッドレンジといいます。一方で、制限されていない信号をフルレンジといいます。一方で、制限されていない信号をフルレンジといいます。 「自動」 入力信号の輝度レンジを自動的に判別し、適切に表示します(推奨設定)。映像再生機器によっては、リミテッドレンジ、フルレンジをモニターが正しく判別できない場合があります。その場合、「フル」または「リミテッドレンジ、フルレンジをモニターが正しく判別できない場合があります。その場合、「フル」または「リミテッド」を選択することができます。 「フル」 フルレンジの信号の場合に選択します。黒も白もつぶれている場合に選択すると、適切な表示になります。 「リミテッド」リミテッド」リミテッド」 シジを0~255に拡張し、適切な表示になります。 MDNI入力の場合のみ設定できます。 「カラーフォーマット」で「YUV」を選択すると、設定が「リミテッド」に固定されます。また、「自動」を選択しているときでも、モニターがYUVと判別した場合は、設定が「リミテッド」に固定されます。 		
音源	ステレオミニジャック HDMI ^{*2}	HDMI信号入力時の音源を切り替えることができます。 参考 ・DVI信号入力時、音声信号を含まないHDMI信号入力時およびD-Sub信号入力時は、設定が「ステレオミニジャック」 に固定されます。		

※1 HDMI入力の場合のみ有効

※2 音声信号を含むHDMI入力の場合のみ有効

機能		説明
アナログ調 整 ^{※1}	自動画面調整	画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整することができます。「自動画 面調整」を選択すると、メッセージが表示されますので、「はい」を選択して ください。
		 参考 ・ 自動画面調整機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。次のような場合には、正しく動作しません。 - コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない
		場合 - 壁紙など背景を黒で使用している場合 また、一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。 ・モニターに初めて信号を入力した場合、またはこれまでに表示したことの ない解像度や垂直走査周波数、水平走査周波数に変更した場合は、自動的 に調整されます(解像度が800×600(SVGA)以上の場合のみ)。
	自動レンジ調整	信号の出力レベルを調整し、すべての色階調(0~255)を表示できるように 自動調整できます。「自動レンジ調整」を選択すると、メッセージが表示され ますので、「はい」を選択してください。
	クロック	画面の縦線や画面の一部に見られるちらつきを軽減できます。
	フェーズ	 参考 ・設定が合ったポイントを見逃しやすいので、本体操作ボタン(レ) を押して、細かく調整してください。 画面全体のちらつきやにじみを軽減できます。
		 参考 ・お使いの外部機器やグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。 ・設定後、画面に縦縞が現れた場合は、再度「クロック」を調整してください。
	水平ポジション 垂直ポジション	画面の表示位置(水平、垂直)を調整できます。
×1 D-Sub入	 	 参考 ・液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。



使用環境やお好みに合わせて、モニター本体の設定をおこないます。

本体設定				
パワーセーブ	[オン]	
電源ランプ オールリセット	[オン]	

機能	設定値	説明
パワーセーブ	オン オフ	外部機器の状態と連動して、モニターを省電力モードにすることができます。 信号が入力されなくなったことを検出してから、約15秒後に省電力モードに 移行します。 省電力モードに移行すると、画面が非表示になり、音声も出力されません。
		 ・省電力モードからの復帰方法 -リモコンの操作ボタン(・モニター前面の本体操作ボタン(・モニターに信号が入力される。
		 ・省電力モードの移行の5秒前になると、移行をお知らせするメッセージが表示されます。 モニターを使用しないときは、主電源を切るか、電源プラグを抜くことで電力が消費されなくなります。 モニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
電源ランプ 	オン オフ	通常動作モードの電源ランプ(青)を消灯することができます。
オールリセット	-	次の設定を除く、すべての設定内容を初期設定に戻します。 ・ 「Administrator Settings」メニュー内の設定



メニューやメッセージの表示言語を選択することができます。

設定値

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、日本語、簡体中国語、 繁体中国語



注意点

・「Administrator Settings」メニューの表示言語(英語)は変更されません。

● インフォメーション

モニターの情報(製品名、製造番号(S/N)、使用時間)と、入力信号の情報を確認できます。 例:

インフォメ・	ーション (HDMI 1)
DuraVision FDF2307W	S/N: 00000001
使用時間(h)	0
入力信号	1920x1080
	fH: 67.5kHz
	fV: 60.0 Hz
	fD:148.5MHz

第4章 管理者向け設定

この章では、「Administrator Settings」メニューを使ってモニターの動作を設定する方法を説明します。

4-1. 「Administrator Settings」メニューの基本操作方法

1.メニューの表示

- 1. しを押して、モニターの電源を切ります。
- 2. モニターの電源が切れている状態で、リモコンのPC、HDMI、POWERを順に押します。 「Administrator Settings」メニューが表示されます。

Administrator Settings					
Compatibility Mode	[Off]		
On-Screen Logo	[On]		
Key Lock	[Off]		
Apply					

2. 設定

1. 🕒 🔽 で、設定したい項目を選択し、ENTER を押します。 調整 / 設定メニューが表示されます。



ご、設定し、ENTERを押します。
 「Administrator Settings」メニューが表示されます。

3. 確定と終了

「Apply」を選択し、ENTERを押します。
 設定が確定し、「Administrator Settings」メニューが終了します。

注意点

・「Administrator Settings」メニューの言語(英語)は変更できません。

4-2. 「Administrator Settings」メニューの各機能

Administrator Settings					
Compatibility Mode	[Off]		
On-Screen Logo	[On]		
Key Lock	[Off]		
Apply					

. . . .

機能	設定値	説明
Compatibility Mode	On Off	次の現象を回避したい場合は、この機能を「On」に設定してください。 ・ 省電力モードからの復帰時間が長い。 ・ モニターに信号を入力しても画面が表示されない。
On-Screen Logo	On Off	この製品の電源を入れると、画面にEIZOロゴが表示されます。 この機能を「Off」に設定すると、EIZOロゴを非表示にすることができま す。
Key Lock	On Off	設定した状態を変更できないように、モニター前面の本体操作ボタンを ロックすることができます。 ・「On」 電源ボタンを除くすべてのボタンをロックします。 ・「Off」(初期設定) すべてのボタンが有効です。

第5章 こんなときは

5-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
 画面が表示されない 電源ランプが点灯しない 	 電源コードは正しく接続されていますか。 背面の主電源スイッチを入れてください。 ひを押してください。 背面の主電源スイッチを切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
 ・電源ランプが点灯:赤色 	 リモコンのPOWERを押すか、または本体操作ボタンの ひを押してみてください。
 ・電源ランプが点灯:青色 	 ・設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください(「カラー調整」(P.17)参照)。
 ・電源ランプが点灯:橙色 	 入力信号を切り替えてみてください。 「Administrator Settings」メニューの「Compatibility Mode」で、 設定を「On」にしてください(「Compatibility Mode」(P.26) 参照)。 マウス、キーボードを操作してみてください。 外部機器の電源は入っていますか。 背面の主電源スイッチを切り、もう一度スイッチを入れてみてくだ さい。
・ 電源ランプが点滅:橙色	・ モニターに接続している周辺機器の接続および状態を確認してくだ さい。
2. 次のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されな いときに表示されます。
 信号が入力されていない場合の表示です。 例: HDMI 1 入力信号無し 	 外部機器によっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 外部機器の電源は入っていますか。 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 入力信号を切り替えてみてください。 背面の主電源スイッチを切り、もう一度スイッチを入れてみてください。
 入力されている信号が周波数仕様範 囲外であることを示す表示です。 例: HDMI 1 信号エラー 	 外部機器の設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか(「1-3.対応解像度」(P.11)参照)。 外部機器を再起動してみてください。 グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

5-2. 画面に関する症状(デジタル、アナログ共通)

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	 ・設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」を調整してください(「カラー調整」(P.17)参照)。(液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。) ・画面が明るすぎる場合は、Auto EcoViewを「オン」に設定してみてください。周囲の明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します(「Auto EcoView」(P.14)参照)。
2. 明るさが勝手に変わる	 Auto EcoViewを「オフ」に設定してみてください(「Auto EcoView」 (P.14)参照)。
3. 文字や画像がぼやけて見える	 外部機器の設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか(「1-3.対応解像度」(P.11)参照)。外部機器がモニターの推奨解像度に対応していない場合、外部機器からの出力が低解像度となる場合があります。 OSの拡大表示の設定を「100%」にしてみてください。複数のモニターを使用している場合は、すべてのモニターの拡大表示の設定を「100%」にしてみてください。
4. 残像が現れる	 この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 長時間同じ画像を表示する場合は、外部機器のスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。 インターレース信号で出力していないか確認してください。
5. 画面に緑、赤、青、白のドットが残 る / 点灯しないドットが残る	 これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではあり ません。
6. 画面上に干渉縞が見られる / 液晶パ ネルを押した跡が消えない	 ・ 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
7. 画面にノイズが現れる	 ・設定メニューの「オーバードライブ」の設定を「オフ」にしてみてください(「オーバードライブ」(P.19)参照)。 ・HDCP方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
8. 画面の色がおかしい	 ・設定メニューの「カラーフォーマット」を変更してみてください (「カラーフォーマット」(P.21)参照)。
9. 画面全体に画像が表示されない	 ・設定メニューの「画面拡大」を変更してみてください(「画面拡大」(P.20)参照)。 ・外部機器の解像度の設定がモニターの解像度と一致しているか確認してください。

5-3. 画面に関する症状(アナログのみ)

症状	原因と対処方法
1. 画像がずれている	 ・設定メニューの「水平ポジション」「垂直ポジション」 で画像の位置を合わせてください(「水平ポジション」 「垂直ポジション」(P.22)参照)。 ・ グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位 置を変える機能があれば、その機能を調整してください。
 画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている したいる (1) (・設定メニューの「クロック」で調整してみてください (「クロック」(P.22)参照)。
3. 画面全体がちらつく、にじむように見える	・設定メニューの「フェーズ」で調整してみてください (「フェーズ」(P.22)参照)。

5-4. その他の症状

症状	原因と対処方法	
1. 設定メニューが表示できない	 本体操作ボタンのロックが機能していないか確認して みてください(「Key Lock」(P.26)参照)。 	
2. 設定メニューの項目が選択できない	 グレーの文字で表示されている項目は、変更できません。 	
3. 音声が出ない	 ステレオミニジャック(入力)にステレオミニジャック ケーブルが正しく接続されていますか。 音量が「0」になっていませんか。 外部機器および音声を再生しているソフトウェアの設定 を確認してください。 HDMI入力時は「音源」の設定を確認してみてください (「音源」(P.21)参照)。 モニター本体のスピーカーから音声が出ない場合は、ス テレオミニジャック(出力)にアンプ内蔵スピーカーを 接続していないか確認してみてください。 アンプ内蔵スピーカーから音声が出ない場合は、ヘッド ホンを接続していないか確認してみてください。 	
4. 電源ランプが点滅する	• 背面の主電源スイッチを切り、もう一度スイッチを入れ てみてください。	

.

第6章 ご参考に

6-1. オプションアーム取り付け方法

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム(またはオプションスタンド)に 取り付けることが可能になります。対応しているオプションアーム(またはオプションスタンド)につ いては、当社のWebサイトを参照してください(www.eizo.co.jp)。

注意点

- ・取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- ・他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA 規格準拠のものを選択してください。取り付けにはこの製品に付属のVESAマウント取り付け用ねじをご使用くだ さい。
 - 取り付け部のねじ穴間隔:100 mm×100 mm
 - プレート部の厚み:2.6 mm
 - 許容質量:モニター本体の質量(スタンドなし)とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- ・アームまたはスタンド取り付け時の設置可能な方向および可動範囲(チルト角)は次のとおりです。



- ・ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- ・モニターおよびアームまたはスタンドは重いため、落としたりするとけがや故障の原因になります。
- ・ 定期的にねじの締め付けを確認してください。締め付けが不十分な場合、モニターが外れ、けがや故障の原因に なります。

取付方法

1. 液晶パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、液晶パネル面を下に向けて置きます。

2. スタンドを取り外します。

別途ドライバを準備ください。ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているねじ4箇所を 取り外します。

3. モニターにアーム(またはスタンド)を取り付けます。

この製品に付属のVESAマウント取り付け用ねじを使って取り付けます。



6-2. 複数の外部機器を接続する

この製品は、複数の外部機器を接続し、切り替えて表示することができます。

注意点

・Dual Link DVIケーブルは使用しないでください。

● 接続例



参考

・リモコンの P C、HDMI、または本体操作ボタンの SIGNAL で表示する入力信号を選択できます。詳細は「2-1.入力信号を切り替える」(P.12)を参照してください。

6-3. 外部スピーカーを接続する

この製品にアンプ内蔵のスピーカーを接続して、外部機器からの音声を出力することができます。

● 接続例



注意点

- ・音量は外部スピーカー側で操作してください。モニターのリモコンや本体操作ボタンでは操作できません。
- ステレオミニジャック(出力)にアンプ内蔵スピーカーを接続すると、モニター本体のスピーカーから音声が出なくなります。
- アンプ内蔵スピーカーを接続した状態で、モニターにヘッドホンを接続すると、アンプ内蔵スピーカーから 音声が出なくなります。

6-4. 仕様

液晶パネル	種類	IPS (アンチグレア)
COMPLEX 1 / / P	バックライト	LED
	サイズ	58.0 cm(23.0)型
		1920ドット×1080ライン
		509.2 mm × 286.4 mm
	 画素ピッチ	0.265 mm × 0.265 mm
		8 bitカラー: 1677万色
		178° / 178°
	応答速度(標準値)	中間階調域: 14 ms(オーバードライブ設定:オフ)
	コート出フ	
呀像信ち		HDMI (HDCP) *1×2
	デジタル走査周波数	DVI : 31 kHz~68 kHz /
	(水平 / 垂直) 	59 Hz \sim 61 Hz, 60 Hz \sim 71 Hz, (720 × 400 m k \pm)
		HDMI · 31 KHZ~08 KHZ / 59 Hz~61 Hz
		69 Hz~71 Hz(720×400のとき)
	アナログ走査周波数	D-Sub: 31 kHz~81 kHz /
	(水平 / 垂直)	59 Hz~76Hz
	フレーム同期モード	59 Hz~61 Hz
	ドットクロック(最大)	149 MHz
音声	音声入力フォーマット	HDMI: 2chリニアPCM(32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz)
	スピーカー	0.5 W+0.5 W
	ヘッドホン	2 mW+2 mW (32Ω)
	入力端子	ステレオミニジャック×1
		HDMI×2(映像信号と共用)
	出力端子 	ヘッドホンジャック×1 フテレオミニジャック×1
	● 「「「」」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	$(x) \nabla x = 27797 \times 1$
电你		
	自电力时府貢电力	
	い 祝ら 府員 電力 め 組 寸 注	545 0 mm × 379.4 mm × 205.0 mm
1,及1中		(幅×高さ×奥行) (チルト角度0°時)
	外観寸法(モニター部)	545.0 mm×348.5 mm×54.0 mm(幅×高さ×奥行)
	 質量	約4.3 kg
	質量(モニター部)	約3.4 kg
	チルト	上30.0°、下5.0°
動作環境条件	温度	5 °C~35 °C
	湿度	20 %~80 %(R.H.、結露なきこと)
	気圧	540 hPa∼1060 hPa
輸送/	温度	-20 °C~60 °C
保存環境条件	湿度	10 %~90 % (R.H.、結露なきこと)
	気圧	200 hPa~1060 hPa

※1 HDMI CEC機能(相互制御機能)には対応していません。

●オプション

オプション品に関する最新情報は、当社のWebサイトを参照してください(www.eizo.co.jp)。

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DisplayPortコンプライアンスロゴ、VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。 SuperSpeed USB Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。

USB Power Delivery Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の商標です。



USB Type-C、USB-CはUSB Implementers Forum, Incの登録商標です。

DICOMは、National Electrical Manufacturers Associationが所有する、医用情報のデジタル通信に関する 規格の登録商標です。

Kensington、MicrosaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。

ThunderboltはIntel Corporationの米国および/またはその他の国における商標です。

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

AdobeはAdobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社)の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、macOS、Mac OS、OS X、Macintosh、ColorSyncはApple Inc.の登録商標です。

ENERGY STARは米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、CuratOR、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、 RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i·Sound、Quick Color Match、RadiLight、Re/Vue、SafeGuard、Screen Administrator、Screen InStyle、ScreenCleaner、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。

その他の会社名、商品名およびロゴマークは所有者の商標または登録商標です。

ライセンス

この製品上で表示される文字には、リコーインダストリアルソリューションズ株式会社が制作したビッ トマップフォントを使用しています。

VCCI

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置 がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱 説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

.

また、製品の付属品(ケーブルを含む)や当社が指定する別売オプション品を使用しない場合、VCCIの 技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格 を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあ ります。

この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JISC61000-3-2に適合しております。

アフターサービス

この製品のサポートに関してご不明な場合は、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合 わせください。

保証書について

この製品の保証書はセットアップガイドにあります。必要事項をご記入の上、購入日が分かる書類 (レシートなど)とともに保管してください。

修理を依頼されるとき

保証期間中の場合

保証書の規定に従い、修理または交換をさせていただきます。

保証期間を過ぎている場合

修理範囲(サービス内容)、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- ・お名前、ご連絡先の住所、電話番号 / FAX番号
- ・お買い上げ年月日、販売店名
- ・ 製品名、製造番号(製造番号は、本体の背面部のラベルに表示されている8桁の番号です。例: S/N 12345678)
- ・使用環境(コンピュータ / グラフィックスボード / OS、システムのバージョン / 表示解像度など)
- 故障または異常の内容(できるだけ詳細に)
- エラーコード(画面に表示された場合)

製品回収、リサイクルシステムについて

パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、 メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。 当社製品は、一般社団法人「パソコン3R推進協会」が回収させていただきます。 回収を希望されるお客様は当社のWebサイトよりお申し込みください。

(www.eizo.co.jp)

※ この製品は業務用途を意図した製品ですので、ご使用後廃棄される場合は有償となります。





03V28723A1 UM-FDF2307W

1st Edition - February, 2021